幼兒の言行

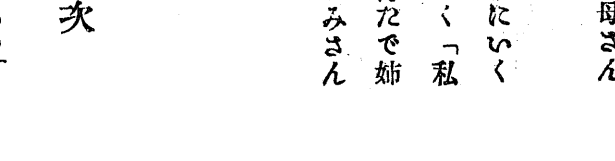
羽田晴

五年餘の男兒他の兒とこまを弄びて、かげことをなす甲兒の曰く「わたしが勝てば百萬圓おくれ」乙兒よしと答ふ直に甲兒の側らに至りて百萬圓もらひて何にするぞと問ひしに一寸考へ「百萬圓はおかーさんにやる殘りはおしることお菓子を買ふのです。

或る貧兒の集まる所にて日々兒をしてふき掃除せしめ草履も上下を別にせり或る日高貴の人々數多參り給へるに靴のまゝにて上りたり一兒早くも見出して「先生あの人は靴で上りましたよ。

或日三年以上四年までの兒と遊び居りしに其中の一人吾に向ひて曰うに「先生うちの父さんと母さんとけんかすればどちらが强いでしよう」吾は「父さんと母さんはけんかなどするものですか」と答へけるにその言葉を聞きて方々より馳せ來りて異口同音に「私の家でもしますよ一度は母さんがまけましたよ。

或日新入兒にさとすにゑらくなれとて戰にいくかなとすかし居りしに同じ新入の一女兒曰く「私はゑらいから何になるのです」余の答も待たで姉分の女兒走り出で「あなたはいくさのおかみさんですねー先生

鳥取の童謠

鳥取　永井幸次